

男性にとっての男女共同参画

男女共同参画 vol.50 「生きがいある社会を目指して」

「男女共同参画」は男性にとっても生きがいのある社会を目指す上で重要な課題です。例えば、このような経験はありませんか。

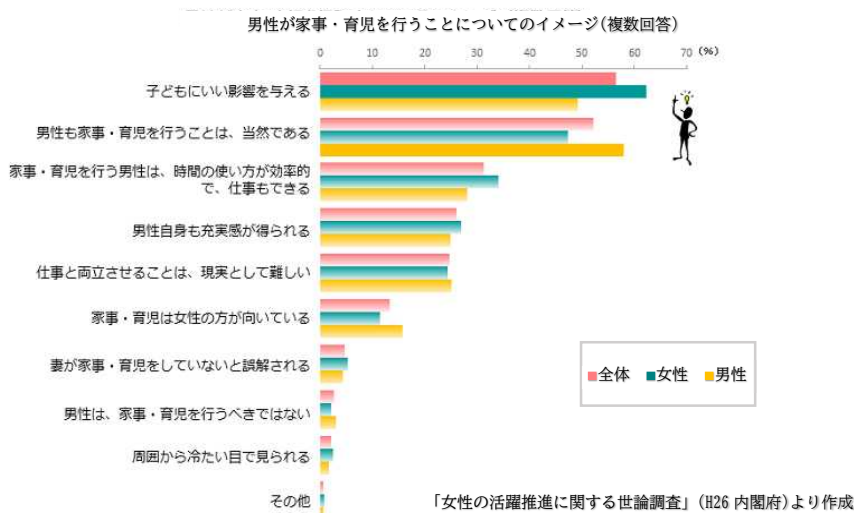
- ・ 毎日残業が多く、仕事と生活のバランスが取りにくい。
- ・ 育児休業の取得を言い出しにくい職場の雰囲気があった。

男女共同参画社会を実現するためには、性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しによって、男性にとっても地域や家庭へ参画しやすい環境づくりが求められます。



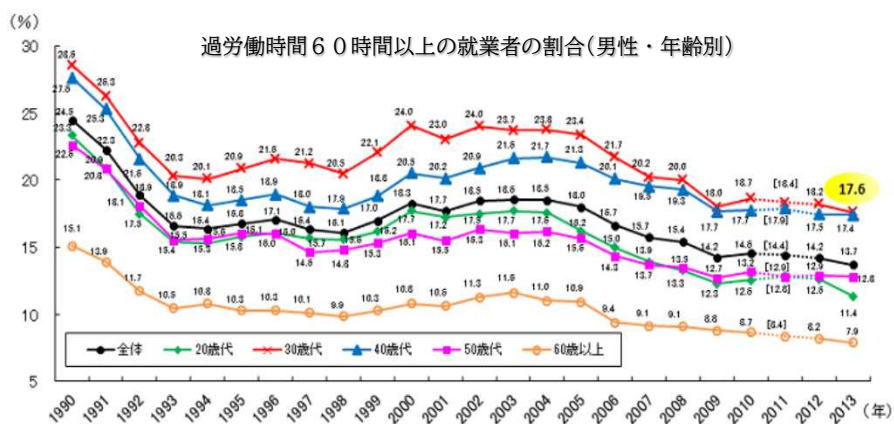
男性の家事・育児参画へのイメージ

>>平成 26 年度調査によると、男性は「男性も家事・育児を行うことは、当然である」女性は、「子どもにいい影響を与える」が最も多い回答になっています。



男性の労働時間

>>週労働時間 60 時間以上の男性就業者の割合は 30 代が最も高く、次いで 40 代が高くなっています。>>長期的には減少傾向にありますが、依然として高い割合で推移しています



〈備考〉1. 総務省「労働調査」より作成

2. 数値は、非農林業就業者のうち従業者総数に占める割合

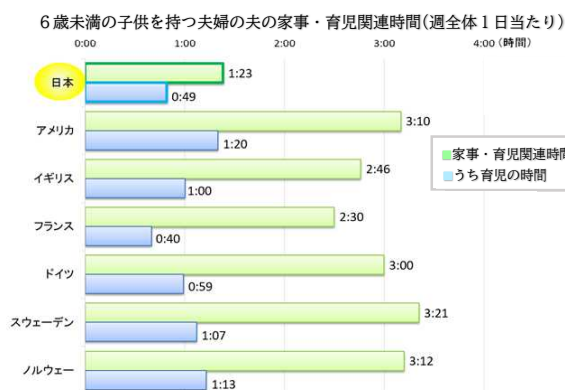
3. 2011 年の[]内の割合は岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果

「男性にとっての男女共同参画」について、さらに詳しい項目・内容は二次元コードよりご覧いただけます。➡



男性の家事・育児の参画時間

>>諸外国に比べ、男性の家事育児参画時間は低水準となっています。



備考) 総務省「平成28年社会生活基本調査」、Bureau of Labor Statistics of U.S. "American Time Use Survey" (2016)及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。

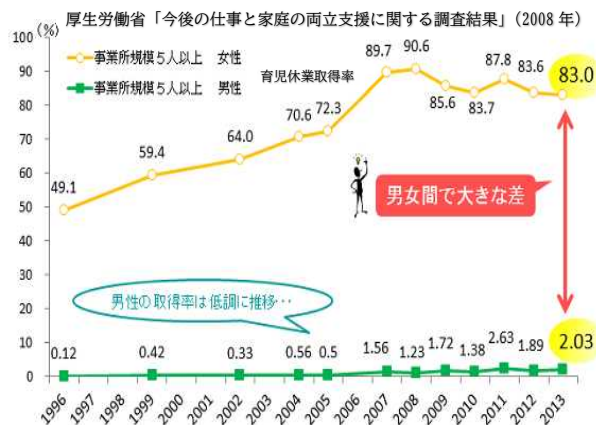
男性の育児休業取得意向と実際

>>育児休業を取得したいと考えている男性は3割を超えています。>>男性の育児休業取得率は長期的には上昇傾向にありますが、低調となっています。

両立支援制度の利用意向

	全体	男性	女性
調査数(n)	1,553	752	801
育児休業制度	50.9%	31.8%	68.9%
育児のための短時間勤務制度	48.9%	34.6%	62.3%

約3割は制度を利用する意向あり



男性が男女共同参画社会に参加するためには、性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しが重要です！

内閣府男女共同参画局>>>「男性にとっての男女共同参画」より抜粋